

## 芝公園だより

◆ 2025年11月21日から12月20日までの間における送付文書や会議等の開催状況等についてお知らせします。

### 2025年11月

11月21日 .....

▶第248回社会保障審議会介護給付費分科会(厚生労働省)

標記分科会に東憲太郎会長が委員として出席

11月26日 .....

▶令和7年度第16回正副会長会及び第8回常務理事会合同会議

山口大会、財務大臣・厚生労働大臣・自民党幹事長面会、記者会見等について報告、検討

▶令和7年度支部長会

基調報告後、全国大会、調査研究事業、事故検討会等について検討

11月27日～28日 .....

▶第36回全国介護老人保健施設大会 山口

山口県下関市の下関市民会館等を会場に標記大会を開催(参加登録者3,309名)

11月28日 .....

▶『介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の促進にかかる調査研究事業』調査へのご協力について(お願い)』(全老健第7-175号)

会員、支部長あてに送付

▶e-roken<第513号>各種研修会申込み受付中です

登録会員、登録申込者あてに配信

▶e-roken 全国大会 山口flash 成功裏に閉会

登録会員あてに配信

### 2025年12月

12月1日 .....

▶第130回社会保障審議会介護保険部会(厚生労働省)

標記部会に東憲太郎会長が委員として出席

12月2日 .....

▶「令和7年11月末日現在公益社団法人全国老人保健施設協会正・準会員加入・申込状況等の送付について」(全老健第7-178号)

役員、支部長あてに送付

▶2025年度管理者(職)研修会

老健施設の管理者(職)、老健施設開設予定者等を対象にWebにて開催(～12月19日)

12月3日 .....

▶第26回日本認知症グループホーム全国大会 兵庫大会(主催:公益社団法人日本認知症グループホーム協会)

兵庫県内で開催された標記大会に東憲太郎会

長が出席

▶第249回社会保障審議会介護給付費分科会(厚生労働省)

標記分科会に東憲太郎会長が委員として出席

12月4日 .....

▶第4回全国老人福祉施設大会・研究会議～JSフェスティバル in 山口～(主催:公益社団法人全国老人福祉施設協議会他)

山口県内で開催された標記大会に東憲太郎会長が出席

12月5日 .....

▶令和7年度第2回総務・企画委員会

令和7年度事業計画の一部変更(素案)、令和7年度収支補正予算(素案)、全国大会開催地等について検討

12月6日 .....

▶第2回介護保険施設等を対象とした特定行為研修制度に関する説明会

介護保険施設等の管理者や医師、看護師等を対象に会場とWebのハイブリッド開催

12月8日・9日 .....

▶令和7年度介護老人保健施設利用者等に対する急変時等の治療方針に関する意思決定支援にかかる調査研究事業ヒアリング

標記研究事業に係るヒアリング調査をWebにて実施

12月10日 .....

▶令和7年度第2回管理運営委員会安全推進部会合同会議

リスクマネージャー養成講座、2026年度安全推進月間テーマ、DMSP災害派遣事前登録等について検討

12月12日 .....

▶第250回社会保障審議会介護給付費分科会(厚生労働省)

標記分科会に東憲太郎会長が委員として出席

▶第8回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会(厚生労働省)

標記検討会に構成員である東憲太郎会長の代理で瀬口里美常務理事が出席

▶令和7年度第17回正副会長会及び第9回常務理事会合同会議

社会保障審議会介護給付費分科会および介護保険部会、介護保険最新情報等について報告、検討

▶令和7年度第1回臨時理事会

付議されたすべての議案について承認(本誌p.41に掲載)

12月15日……………

▶片山さつき財務大臣を表敬訪問

東憲太郎会長、平川博之副会長、三根浩一郎副会長、福田六花常務理事、瀬口里美常務理事、小出純子常務理事、全国老人保健施設連盟の福島啓祐委員長が片山さつき財務大臣を表敬訪問

▶第131回社会保障審議会介護保険部会(厚生労働省)

標記部会に東憲太郎会長が委員として出席

▶令和7年度第2回支部事務担当者会

役員・代議員・支部長・ブロック長改選、令和7年度補正予算案等について報告後、意見交換(本誌p.42に掲載)

▶e-roken<第514号>リスクマネジメントマニュアルを発行しました

登録会員、登録申込者あてに配信

12月17日……………

▶尾崎正直内閣官房副長官を表敬訪問

東憲太郎会長が尾崎正直内閣官房副長官を表敬訪問

▶第4回在宅医療及び医療・介護連携に関するワー

キンググループ(厚生労働省)

標記検討会に東憲太郎会長が構成員として出席

▶令和7年度第1回研修委員会

看護職員研修会、令和8年度研修事業等について検討

▶第7回老健施設向けDX推進リーダー育成講座

標記講座の受講者を対象にWebにて開催

12月18日……………

▶社会保障を守る会 緊急集会

東京都内で開催された標記集会に東憲太郎会長が出席

12月19日……………

▶『『介護保険施設等を対象とした特定行為研修制度に関するシンポジウム』開催のご案内』(全老健第7-189号)

会員、支部長あてに送付

▶『『2025年度看護職員研修会』開催のご案内』(全老健第7-191号)

会員、支部長あてに送付

▶第251回社会保障審議会介護給付費分科会(厚生労働省)

標記分科会に東憲太郎会長が委員として出席

▶e-roken flash 調査へのご協力をお願いします!

登録会員あてに配信

2025年12月の正・準会員加入状況は、全老健ホームページでご確認ください。



## 心よりお慶び申し上げます

令和7年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰において、  
老健施設職員として次の2名が受賞されました。

**鈴木 三智子 氏**

茨城県 介護老人保健施設大宮フロイデハイム

**奥野 陽子 氏**

大阪府 介護老人保健施設さやまの里

今後ともご健康に留意され、ますますご活躍されますことをお祈りいたします。

安全優良職長厚生労働大臣顕彰の詳細、受賞者名簿等は厚生労働省ホームページをご確認ください。



## 令和7年度支部長会を開催

全老健は11月26日、山口県下関市で令和7年度支部長会を開催した。報告事項は◇基調報告◇全国大会◇調査研究事業◇事故検討会◇全老健共済会からの報告◇老健連盟からの報告——の6項目。

### 期中改定大幅プラスをめざす

基調報告で東憲太郎会長は、介護業界の処遇改善への対応を含む令和7年度補正予算案(12月16日成立)の内容について、「骨太方針2025の影響が大きかった」と振り返った。補正予算による処遇改善については、「介護は常勤1人月2万円の確保をお願いしていた。ほぼそれに近いところで実現できた」と評価した。

2026年に予定されている処遇改善のための介護報酬の期中改定にも触れた。「2026年4月の期中改定は賃上げ改定となるが、補正予算で勝ち取った介護職員1人月1万9千円、他職種1万円というのが、すべてこの期中改定に反映されるのが大前提。今回の補正を基準にやっていただくように尽力している。物価高騰が厳しいので、基準費用額の見直しも行っていただけないかとお願いしている。それも含めて、大幅なプラス改定率をめざして訴えていく。また、2027年の通常の介護報酬改定の議論も待ったなしで始まる」と改定に向けた意気込みを語った。

### リスクマネジメントのマニュアルを作成

全国大会については、翌日11月27日から開催の第36



回山口大会の額原健大会会長、第37回栃木大会の高木邦格大会会長、第38回鹿児島大会の今村英仁大会会長が、各大会日程や概要などを報告した。

調査研究事業については、瀬口里美常務理事から、老健施設の在宅療養支援機能等の調査(令和7年度老人保健健康増進等事業)への協力依頼があった。調査結果は次期介護報酬改定で老健施設のあり方を検討する上での材料となるため、協力を呼びかけた。

事故検討会の報告として、山野雅弘理事から老健施設のリスクマネジメントについてまとめたマニュアル『「高齢者のアクシデント」支えあいの心で理解を深めよう』を作成したことが報告された。「このマニュアルは、これまでに全老健から発行されたリスクマネジメントに関する書籍をベースに、事故検討会での事故に対する意見や考え方のエッセンスを加えた」と説明し、施設での活用を求めた。全老健のホームページからダウンロードできる。

全老健共済会からは全老健が契約者である団体保険制度の補償内容などについて、老健連盟からは会員種別の名称変更と会員募集の説明があった。

## 高市早苗内閣総理大臣 に面会

2025年12月22日、全老健と、全国老人保健施設連盟、日本認知症グループホーム協会の役員が、高市早苗内閣総理大臣に面会した。東憲太郎会長は、令和7年度補正予算や2026年度の臨時介護報酬改定における介護業界の処遇改善や物価高騰支援に感謝を述べるとともに、次期介護報酬改定に向けて今回を発射台に引き続きの支援を依頼した。(全老健事務局)



左から、小出純子常務理事、瀬口里美常務理事、福岡啓祐委員長(老健連盟)、東会長、高市内閣総理大臣、光山誠理事、日本認知症グループホーム協会の河崎茂子会長、唐澤剛副会長、安藤たかお衆議院議員



# 令和7年度

## 第1回臨時理事会開く

全老健は12月12日、都内で令和7年度第1回臨時理事会を開催した。令和7年度事業計画の一部変更案など6議案について承認した。

### 令和7年度事業計画の一部変更案を了承

冒頭挨拶で東憲太郎会長は、令和7年度の補正予算案について「骨太の方針に沿って、私どもがお願いしていた賃上げ・物価高騰対策の予算をしっかりと計上していただいた」と評価した。また、年末の令和8年度予算編成に向けた要請活動を展開していくことに言及し、「処遇改善や食費の基準費用額引き上げに対応するため、来年度の介護報酬の臨時改定を実現していきたい」と訴えた。

議案は、第1号議案「令和7年度事業計画の一部変更案」、第2号議案「令和7年度収支補正予算案」、第3号議案「諸規程」、第4号議案「委員会委員の承認」、第5号議案「新規入会申込者(令和7年5月1日～令和7年11月30日)」、第6号議案「会員変更申請者(令和7年5月1日～令和7年11月30日)」で、全会一致で承認された。

第1号議案は、国庫補助金の確定等により、令和7年度事業計画での教育事業や調査研究事業の一部を変更する。

第3号議案は、全老健が実施する調査・研究事業等において、対象者の利益相反を明らかにし、その正当な権利を認めることなどを目的とした利益相反管理規程を新たに制定する。

### 賃上げ・物価高騰対策の補正予算を説明

報告事項は、①業務報告等②退会者(令和7年5月1日～令和7年11月30日)③令和7年11月30日現在加入状況④代議員・予備代議員、支部及びブロッケー



覧——について説明された。

基調報告では、東会長が国の賃上げ・物価高騰対策や社会保障審議会介護給付費分科会における令和8年度期中改定に向けた議論などを紹介した。

賃上げ・物価高騰対策については、令和7年度補正予算獲得に向けた取り組みを報告した上で、補正予算案に盛り込まれた医療・介護等支援パッケージ(介護分野、2,721億円)の内容を説明。

このうち、「介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業」(1,920億円)は、①介護従事者に対する幅広い支援＝月1万円②協働化等に取り組む事業者の介護職員に対する上乗せ＝月5千円③介護職員の職場環境改善を支援＝介護職員の人件費月4千円の賃上げに相当——を半年分支給する。

東会長は、5千円の上乗せ分は施設サービスでは生産性向上加算ⅠまたはⅡの取得が要件、4千円の上乗せ分は令和6年度補正予算の要件と同様であることを説明し、「それほど難しくない」と述べ、国庫補助金の申請を求めた。

また、支援パッケージでは、設備・備品の購入費補助や食事サービス継続のための物価高騰支援として、老健施設(定員100床)で合計240万円の補助が出ることも示した。

一方、令和7年度補正予算案では、物価高騰重点支援地方交付金が追加された。東会長は「支援パッケージの補助金は必ず配られるが、交付金は都道府県の裁量で決まるため、都道府県議会議員などへの働きかけが重要になる」と呼びかけた。

## 令和7年度第2回 支部事務担当者会を開催

全老健は2025年12月15日、令和7年度第2回支部事務担当者会をオンライン形式で開催した。

主な議題として、来年度予定されている役員・代議員・支部長・ブロック長改選や、令和7年度補正予算案（12月16日成立）について説明があった。

役員・代議員・支部長・ブロック長改選については事務局よりスケジュールが示された。定時社員総会は6月26日に開催予定。改選の公示は2月5日まで。会長とブロック理事候補者は、2月末までに立候補届を提出。支部総会、ブロック代表者会を経て、候補者を会長に届

け出る。代議員を決める支部総会は3月末日までに開催。候補者については、支部総会開催の14日前までに、候補者一覧を支部正会員に通知する。また、ブロック代表者会は4月末日までに開催し、そこで支部長および代議員の互選で次期ブロック長を決定する。

令和7年度補正予算案については、事務局より、◇介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業◇介護事業所・施設のサービス継続支援事業◇介護テクノロジー導入・協働化・経営改善等支援事業について説明があった。介護テクノロジー等の導入については、「いままで、補助率は下限4分の3だったが、今回は全国一律に5分の4になった。事業主負担としては5分の1で済む。皆さまどうか申請をして、テクノロジー機器を導入していただきたい」と訴えた。また、補正予算では、物価高騰対策として、重点支援地方交付金に当初予算の1千億円に2兆円が追加された。老健施設に確実に配分されるよう、都道府県や市区町村、議員への働きかけを要請した。

## INFORMATION

### 2026年 2月～3月開催 実地研修の ご案内

対 象：原則、老健施設勤務2年以上の会員施設職員  
受講料：1日当たり3,300円（税込）

下記は2025年12月12日現在の予定です。研修の詳細や参加の申込みは、各施設の実地研修担当者へ直接ご連絡ください。



※研修の最新情報・カリキュラムはこちらをご覧ください。

認知症 2施設				
都道府県	施設名	T E L	開催日	定員
愛知県	稲沢老人保健施設第2 憩の泉	0587-23-1161	2/19～2/20	2
和歌山県	介護老人保健施設紀伊の里	073-461-8888	3/10	4